

土日における中学生の活動の地域展開に向けた部活動改革の歩み

西川町教育委員会

年月日	西川中学校	西川町	西村山	県中体連	山形県	国(スポーツ庁・文化庁等)
2018年 平成 30 年 3月	「 <u>運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン</u> 」(国のガイドライン)：スポーツ庁 文化部活動に関しては文化庁が12月に策定 義務教育である中学校段階の運動部活動を主な対象とし、 生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築する という観点に立ち、 運動部活動が、地域・学校・競技種目等に応じた多様な形で最適に実施されることを目指す					
12月	「 <u>山形県における運動部活動の在り方に関する方針</u> 」(山形県のガイドライン)：スポーツ保健課 文化部活動に関しては県教育委員会が7月に方針策定 運動部活動に係る種々の課題(部員数と部活動数の減少・生徒の身体的精神的負担・教員の多忙化)に照らし、生徒にとって望ましいスポーツ環境という観点に立ち、運動部活動が多様な形で実施されることと 教員の働き方改革を目指す					
2019年 平成 31 年 1月	「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築に向けた働き方改革の総合的な方策について」：中教審答申 将来的には、 部活動を学校単位から地域単位の取り組みにし、学校以外が取り組むことも積極的に進める					
2月	「 <u>西川町における運動部・文化部活動の在り方に関する方針</u> 」(西川町のガイドライン)：西川町教育委員会 文化部活動に関しては教育委員会が7月に方針策定 上記、国・県のガイドラインを受けて策定					
3月	リーフレット「 <u>生徒にとって望ましいスポーツ環境を目指して</u> 」：山形県教育委員会 山形県のガイドライン広報資料					
2019年 平成 31 年 4月	「 <u>西川町立西川中学校部活動方針</u> 」：西川中学校 上記、国・県・町のガイドライン等を受けて策定 ・平日に2日活動休止日を設定(令和4年5月から運用開始) ・学校管理下外の地域スポーツクラブの活動について、生徒の過度な負担とならないよう、クラブ関係者、保護者の理解と協力を得られるように調整を図る。 ・2019年度以降、部活動適正化の基準に照らし合わせ生徒数減少の様子を鑑み、 部活動数を検討 していく ・文化部(吹奏楽部)にも適用 <u>部員不足による部活動再編について(ガイドライン)</u> 西川中学校における部員募集停止の夏季基本ルールを設定 2年間連続して新人総体に出場できない部は、翌年から部員を募集しない					
令和元年 11月 12月	公立の義務教育諸学校等の教職員給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案に対する附帯決議 部活動を学校単位から地域単位の取り組みとし、学校以外の主体が担うことについて検討を行い、早期に実現すること					
2020年 令和2年 9月	「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」 2023年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図る					
2022年 令和 4 年 3月	<u>部員不足による部活動再編について(令和3年度改訂)</u> 基本ルール ・新人総体と翌年の地区総体に出場できない場合、翌年から部員募集停止 ・2年連続で新人総体に出場できない場合、翌年から部員募集を行わない ・募集停止した部の所属部員の希望がある場合は活動継続可能とし、 部員がいなくなった時点で廃部とする		運動部活動の地域移行に関する情報提供 ：県中体連会長 ① 学校から 地域移行したクラブ等に参加する生徒の大会参加資格の緩和 (条件をつけた形で参加資格を緩和することに同意 ※条件：登録要件を満たす) ② 部活動 任意加入制の導入 (R4年度中) ③ 部活動数の整理 ④ 部活動の地域移行に向けた準備		フライヤー「部活動改革のイメージ」 ：スポーツ保健課➡⑦—1 ・生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築 ・教員の働き方改革の推進 ・現状と課題、課題解決のための取り組み、目指す方向性	
年月日	西川中学校	西川町	西村山	県中体連	山形県	国(スポーツ庁・文化庁等)

年月日	西川中学校	西川町	西村山	県中体連	山形県	国(スポーツ庁・文化庁等)
2022年 令和4年 4月 6月	<u>西川中学校令和4年度活動方針</u> 方針を1ペーパーに整理					
	<u>『西川中学校における部活動の休日地域移行について』</u> 現状と課題を把握し、今後の部活動の在り方や地域移行の進め方を検討					
7月	第2回西川町定例議会における荒木俊夫議員の一般質問 西川中学校の部活動の現状と、5年度から国レベルで展開される部活動の地域移行への対応を、学校教育課と生涯学習課の連携のもとで、近隣市町とも連携して進めていく方針にある旨を答弁				運動部活動の地域移行に関する検討会議提言 休日の部活動の段階的な地域移行を開始する 2023年度から3か年を部活動改革集中期間として位置づけ	
	「部活動地域移行の現状と課題」の整理 <u>『部活動の「地域移行」に関する西村山地区中学校の現状と課題』把握資料1・資料2・資料3</u> 西村山地区中体連会長の資料をもとに	西村山市町教委連絡協議会研修会 西川町主管 「部活動地域移行の現状と課題」をテーマに、県スポーツ保健課担当者の説明を受け 域内市町の現状と課題・疑問点などを共有し、取り組みの意識付けを行う		部活動の「地域移行」に係る西村山地区中学校の現状と課題 (地区中体連会長)	運動部活動の地域移行について スポーツ庁 ① 休日の部活動の段階的な地域移行 ・学校と地域が協働・融合したスポーツ環境の整備 ② 合理的で効果的な部活動の推進 ・合同部活動によるスポーツ活動機会の充実 ・短時間で効果的な活動の推進 ③ 生徒にとって望ましい大会の推進	
8月	西村山地区としての対応方針を共有 西村山教育長会 ・西村山地区においては、8年度の地域移行を目標に取り組める競技から順次進める ・可能な競技においては、他市町の生徒も積極的に受け入れる				文化部活動の地域移行に関する検討会議提言 休日の部活動の段階的な地域移行を開始する 2023年度から3か年を部活動改革集中期間として位置づけ	
	<u>部活動保護者会代表者会 資料1・資料2</u> 保護者アンケートの実施や6年度からの任意加入製の段階的導入を確認					
9月	第3回西川町定例議会で大泉奈美議員の一般質問 西川中学校の部活動の現状、町教育委員会としての対応手順等(国が示す方針の理解、課題の掘り起こし、西村山地区内連携の模索、学校・中学生・保護者のニーズ把握と環境整備)について答弁					
	<u>西川町教育委員会独自のフライヤー『休日の部活動の地域移行って…なに?』</u> 西川町教育委員会 地域移行の背景・目的・メリット・課題や今後の進め方を広く理解いただくために、1ペーパー資料を作成し、保護者・関係者等に配布					
11月	<u>一般町民対象対話会 子どもたちの未来のために!「休日の部活動の地域移行」について話し合いましょう!! 資料1・資料2</u> 西川町教育委員会 広く町民に参加を呼びかけ、町民のニーズや、課題、環境整備のアイデア等の意見の集約・整理を行う。					日本スポーツ協会・日本中学校体育連盟・全日本吹奏楽連盟に大会の見直し要請
	<u>山形県における部活動改革に係る基本的な考え方(案)</u> ・部活動は教育課程外の学校教育活動として位置付けられる生徒の自主的、自発的な参加による活動であることから、任意加入が前提 ・部活動改革の目的は、生徒にとって望ましいスポーツ環境づくりと教員の働き方改革の両立 ・部活動は平日のみとし、休日は原則行わない。R5年度から段階的に始め、R8年度からの実施を目指す ・休日の活動を希望する生徒は、地域ラブ等に所属し活動					
12月	<u>学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関するガイドライン</u> スポーツ庁・文化庁 ・スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む ・教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出 ・平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定 ・新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示 ・「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備 ・スポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消					
年月日	西川中学校	西川町	西村山	県中体連	山形県	国(スポーツ庁・文化庁等)

年月日	西川中学校	西川町	西村山	県中体連	山形県	国(スポーツ庁・文化庁等)
2023年 令和 5 年 1 月	西村山 PTA 母親委員研修会 休日の部活動の地域移行って何？西村山 P T A 母親委員研修会で『休日の部活動の地域移行って…なに？』というテーマで 趣旨目的等の周知 を図るプレゼンテーション。 9 月に作成したフライヤーをもとに、 西村山各市町の取り組みの現状について説明			山形県中学校体育連盟主催大会の参加資格の改定（県中体連） ① 参加特例として すべての種目についてクラブ参加可能 （競技ごとの細則設定、県大会から） ② 所属の選択 （部活動のみ・部活動とクラブ・クラブのみ）中学校入学時 ③ 大会 参加区分の選択 （部活動として・クラブとして）		
2 月	西川中実施の児童・生徒・保護者アンケート結果公表 児童 ・ 生徒 ・ 児童の保護者 ・ 生徒の保護者					
3 月	山形県における部活動改革のガイドライン スポーツ保健課 （1）山形県における部活動改革に係る基本的な考え方 ① 部活動改革の目的 ・ 生徒にとって望ましい スポーツ・芸術環境の構築 ・ 教員の働き方改革 の推進 ② 休日の部活動 ・ 部活動は平日のみ とし、 休日は行わない ③ 休日のスポーツ・文化芸術活動に対する考え方 ・ 休日の活動を 希望する生徒は、地域のクラブ等に所属するなどして活動 する （2）部活動改革に向けた学校の体制整備 ① 部活動の 任意加入 ② 部活動数の精選 ③ 合同部活動 の取組み					
2023年 令和 5 年 4 月	外部活動部を創設 学校にある部以外の活動を希望する生徒のために (部員：クラブ所属 3 無所属 2)		部活動地域移行の主管課を学校教育課から生涯学習課に移管 スポーツ庁の「 地域コーディネーター実証事業 」補助金を活用して令和 5 年度から 7 年度にかけて 地域移行の受け皿づくり を進めるにあたり、人材の掘り起こし・コミュニティの形成・活動フィールドの整理・地域移行ニーズとのマッチング等を進めるために、 事業委託で進める という方向を決定。			
6 月	中学校部活動の土日の地域移行に向けた仕組み(受け皿)づくり構想（6 月補正予算要求） 一般社団法人への委託を想定				西村山地区中学校部活動加入状況一覧作成	
7 月	部活動地域移行の現状と課題		西村山市町教委連絡協議会研修会 「部活動地域移行の現状と課題」をテーマに域内市町間で意見と情報を交換			
9 月	第3回定例議会における荒木俊夫議員の一般質問 町教育委員会としての取り組みの経過や 4 ・ 5 年度の 対話会等で明らかになった課題への対応とソフトパワーを活用したシステムを構築すべく国の補助金を活用 する、 中学校の行事を全て平日に移行 実施、新たな 外部活動部の創設 、 6 年度からの任意加入を実施 し、段階的に土日の活動を減らし 8 年度の完全移行に向け準備 を進めている旨回答。					
10 月	西川町における部活動休日地域移行に関する調整業務委託 一社法人ワイルドジャーニーへ					
11 月から 2024年 令和 6 年 1 月	令和 5 年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業(運動部活動の地域移行に向けた実証事業) アンケートを実施・分析報告書を作成					
2 月	町単独予算で対応していく方向を決定 「令和 6 年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）」については、ため希望しない旨			令和6年度中体連主催大会へのクラブ参加について（県中体連） 個人種目は地区大会より全ての種目が参加可能		
3 月	部活動地域移行対話会 各部指導者・保護者等 実証事業アンケート結果説明・現状把握・持続可能な運営体制を協議 西川中の 運動部においては、現在のスポ少との連携環境の下で移行していけることを確認 、ただし、吹奏楽部は指導者・練習場所に課題がある					
	西村山教育長会部活動改革情報交換会 本町からは、R 5 スポーツ庁実証事業について報告					
年月日	西川中学校	西川町	西村山	県中体連	山形県	国(スポーツ庁・文化庁等)

年月日	西川中学校	西川町	西村山	県中体連	山形県	国(スポーツ庁・文化庁等)
2024年 令和 6 年 4 月	・ <u>部活動任意加入制を導入</u> （4 月当初、 <u>全校生徒対象調査</u> <u>新入生・2・3 年生</u> を実施） ・ <u>外部活動部の継続</u> （部員：クラブ所属生徒 無所属生徒） ・ <u>地域移行の段階的導入(月に1回、週末の部活動なし)</u>					
6 月 11 月	国の交付金を活用した財源確保について、スポーツ協会と協議・検討					
12 月	西川町定例議会で大泉奈美議員の一般質問 7 次総では中学生の活動を地域で支えるソフトパワー活用事業を掲げ、4 年度移行は現状や課題把握を行うと共に保護者等への周知説明を行った。 5 年度には、スポーツ庁の地域コーディネーター実証事業に取り組むと共に、対話会を 2 回（5 年 11 月・6 年 3 月）行い課題を整理してきた。 受益者負担が原則ではあるものの、施設設備の利用や用具、指導者の謝金等高額になる部分は支援が必要との結果だった。 6 年度はスポーツ協会とも対話を重ね、謝金などを支援して指導者確保に努める方向を確認してきた。 7 年度は、7 次総にも打ち出している補助を活用した指導環境の維持に向け、対話会も行いながら支援の在り方の精度をあげていきたい。 同時に、地域展開を契機に移住政策・交流人口政策に取り組んでいきたい旨答弁。					「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ
2025 年 令和 7 年 2 月	町単独予算で対応していく方向を決定 国の「地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業」については取り組まない旨回答					
4 月	・部活動任意加入 ・外部活動部 ・地域移行の段階的導入 月に2回、週末の部活動なし				各競技毎の実態と支援ニーズの詳細把握	
5 月	<u>「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ</u> ・ 改革の理念及び基本的な考え方（「地域移行」という名称を「地域展開」に変更） ・ 今後の改革の方向性（令和 8 年度から 13 年度を改革実行期間とし、10 年度までには地域展開に着手） ・ 地方公共団体における推進体制の整備（総括コーディネーターの配置や広域連携） ・ 学習指導要領における取り扱いを規定 （地域クラブと学校部活動の連携、学校部活動についても教職員の負担軽減の観点から一定の記載） ・ 個別課題への対応 地域クラブの実施主体の体制整備・指導者の質と量の確保・活動場所の確保・移動手段の確保・大会等の在り方・関係者の理解促進・安全確保体制整備・障害のある生徒の活動機会確保				各競技毎に、保護者等との対話会を開催、実態と支援ニーズの詳細把握 ・ バレー ・ 卓球 ・ 野球 ・ 吹奏楽 ・ 剣道 ・ カヌー	
6 月	西村山地区部活動改革協議会の設立協議 西村山教育長会において各市町の実情を共有すると共に、8 年度の地域展開開始に向けて各市町が当面足並みをそろえて取り組むタスクを以下の 2 点すること、市町輪番で会議会場を担い、担当者会議でタスクの達成に向けた取り組みを開始することを決定 ・ 広域受け入れが可能なクラブ等の状況を集約し広報する ・ 広域展開するクラブ等のサポートに向けた公共施設の減免対応を進める					
7 月	各競技毎の実態に基づく支援ニーズの詳細整理 4・5 月実施の対話会で把握した競技毎の支援ニーズを整理					
年月日	西川中学校	西川町	西村山	県中体連	山形県	国(スポーツ庁・文化庁等)

年月日	西川中学校	西川町	西村山	県中体連	山形県	国(スポーツ庁・文化庁等)
2025年 令和 8 月	西村山地区部活動改革協議会① 各市町の担当部局職員により、1 市 4 町の施設利用の減免に係る実情を把握するとともに、広域受け入れ可能クラブの情報を集約					
9 月	各競技への支援の重点についてヒアリング 予算に積み上げに向け、支援ニーズの詳細整理を受け、各競技の重点支援ニーズを照会し把握			西村山地区部活動改革協議会② 西村山地域が連携して取り組むべきタスクと各市町でクリアすべき課題（条例改正等）の確認と方向性を整理		
年 11 月	支援体制整備に係る予算要求 上記ヒアリング等をもとに、必要予算を積み上げ予算要求					
	指導者経費に掛かる国の交付金活用申請					
12 月	公共施設の減免対応に係る規則等の改正					
2026年 令和 8 年 1 月	広域受け入れ可能クラブ等の情報整理					
2 月	広域受け入れ可能クラブ等の情報提供					
3 月	体制整備・活動支援等に係る予算決議					
	各競技への支援内容の説明 地域展開についての広報					
4 月	・部活動任意加入制継続 ・設置部数再編 ・外部活動部継続 ・地域移行の完全導入 週末の部活動なし 中学生の土日の活動の地域展開開始					
年月日	西川中学校	西川町	西村山	県中体連	山形県	国(スポーツ庁・文化庁等)